

# 自動性奴隷調教マシン

2014/10/6

Var. 1. 01

シナリオ…石動一

サークル名…ケチヤップ味のマヨネーズ

「こ、このままではプータローさんになってしまおう！」

短大卒業できたはいいけどお祈り続きの体育会系少女、三日月葉は山になった不採用通知に埋もれて叫んだ。

とかくこの世は就職難。今を逃せば新卒カードは使えない。

花嫁修業でもするかなんてあまっちょろい考えはママンとパパンが許さない。許してくれなかった。過ぎる過ぎるよ時間は過ぎる。周りはどんどん就職してる。

自分と同じ立場の友人は結婚という道を選んでゴールイン。気の早い奴あ子供まで産んでる始末。

どうする葉、どうなる葉。白ヤギさんからお手紙届いた。また不採用通知だ。黒ヤギさんはいない。こうなりやいっそ結婚だ！相手がいない！そもそも生まれてこのかた彼氏がいない！

新卒タイムリミットは目前、もはや後がなくなった葉は普段使わない脳みそ使って思いついた！

「そうだ、片っ端から飛び込もう」

電車に飛び込むよりはマシだよねとリクルートスーツに身を包み、カバン一杯に履歴書を詰め込んで旅に出た。

どこでもいい、どつかないのかと彷徨ったその先に見つけたのがなんかすごそうな大企業。

ここなら自分もイけるかも！と飛び込んだ結果……採用されちゃったよ。しかも営業課。

なんでも会社に入った矢先にぶつかりそうになった溝呂木玲子という女性が社長に掛け合ってくれたとかなんとか。

ううわやったー。世の中捨てたもんじゃないんだー。

自分の実力がそのまま結果に繋がる仕事に就けた葉は、頼れる優しく美しい玲子先輩に導かれ社人としてのやる気を燃やす。

めっちゃ燃やす。メラメラ燃やした。

入社した会社が、性奴隷の調教と開発グッズが売りだという事になーぜか気がつかないまま。

そんなこんなで最初に任されたお仕事はなんと財界人や大手企業の社長幹部達を前にした新商品の説明イベント。

まだミーティングの段階だというのに、あまりにも大きいプレッシャーにチワワみたいに震える葉。そんな葉にいつもの優しい笑みを浮かべてベテラン社員の玲子先輩が言う。

溝呂木玲子「大丈夫よ、あなたはただ私の隣に居てくれればいいの」

溝呂木玲子「これは、私から愛する後輩へのプレゼント……特別な経験をして、新しい世界に自信を持って送り出してあげるわ」

ありがてえ涙がであらあとプレッシャーが流れ落ちた葉は、玲子先輩に背中を押されはしゃぐチワワみたいに企画に取り組む。

それがまったく偽の企画というのにぜんっぜん気がつかないまま。

そして当日。のべ数百人が集まった大会場。

ざわめきの声で目を覚ました葉は、あの日玲子先輩が言った通り隣に居ればいいだけの状態になっていた。

ほへ？つと首を傾げていると、マイクを持った玲子先輩が楽しげな声を響かせる。

溝呂木玲子「これからご紹介する商品は、女性専用の自動性奴隷調教マシンです」

おぞましいセックスマッスインに裸で拘束され巨大モニターでお尻のシワまで晒された葉の運命やいかにいい！

頑張れ葉！

負けるな葉！！

君の明日はちんぽだ！！！！

2.

シーン1

ナレ「皆様おはようございます。本日は我が社の新商品デモンストレーションイベントにお集まりいただきありがとうございます」

「これからご紹介する商品は、女性専用の自動性奴隷調教マシンです」

「性奴隷の調教には時間もお金もかかる事は皆様ご存知の事かと思われませんが」

「この商品はそういった手間を省き、洗濯機を回すような感覚で奴隷への調教が可能になります」

サンプル「先輩……先輩、なんですかこれ。外してください、外してえ……」

ナレ「現在こちらに拘束されているのは我が社の新人社員、三日月菜」

「性経験は前後共に無し、性癖はノーマル。今まで純潔を保ってきた瑞々（みずみず）しい身体。しかも、唇も」

「ただ……オナニーは欠かさず毎日していると本人は言っておりますけど。処女は処女です」（嘲笑的な口調）

サンプル「そんな、嘘、先輩、せんばあい。私、聞いてませんよおこんなのお」

「恥ずかしい……。先輩ってばあ。お嫁に行けなくなっちゃいますよお」

ナレ「マシンには様々な機能がついており、お好みの調教方法をボタン一つで設定できます」

「今回はスタンダードな調教方法。まずは通常オナニー機能で小手調べといきましょう」

「こちらは、性的興奮剤の潤滑液を分泌する事により、処女でも痛み無く快楽に浸れる機能」

「長々とした話を抜きにして、さっそくはじめましょう、ではご覧下さい！」

ナレ「スイッチ……」

サンプル「へ？ うわっ！ なになになに！ えっ！？ うそっ！ あっ、あっ」

「嫌あ！ 嫌っ！ こんなっ、人に見られながらなんて嫌あ！」

「せんばあい！ せんばあい！」

ナレ「あなたはこのためだけに雇われたのよ。これがあなたの最初で最後の唯一の仕事」

「会社のために……良い声でいき狂ってる姿、皆さんにお見せ下さい！」

サンプル「嫌ああああっ！ あっ、きやあっ！ ！！」

うっ、う、つぐ、くあっ、ふっ、ふうっ……！！

こんな、会社あ……あつく！ んぐっ、くうっ、入るんじや、あつなかつたあ……！！

……あっ！？ ふあっ！？ あっあっあんっ！ あひっ！ んっ！ んっんんぐっ、んっく、くあっあっ！

おっあふっあっんふあ……！ な、なにつっ！ あっあっうっあっ！













あ……！んあ……！あ……あ……あ……あ……んう……あ、あん……あふあ……んあ……ああん……  
…（恍惚の余韻に浸る）  
あはっ……あつたかあい……んあ、はあう……んく、んんう……あん、あつ、あん……。  
ふあ……ふあうん……あはっ、ん、ああん……あん、あつ、はああああ……（放尿）（快  
樂を受け入れている表現、台詞、説明はせず、無意識での失禁）  
はああう……はあああ……きもちい、ん、んふっ、ふうう……ふあ……。





ナレ「それでは最後の仕上げにもういちど、疑似セックスです。途中からおまんことアナルのダブル調教を行います」

ナレ「この陵辱としか言えない光景に、皆様の心が惹かれているのが私の目でわかります」

「最初の悲鳴をお覚えですか？抵抗の目を！表情を！その彼女が！少し前まで処女だったこの美しい少女が！」

「自らちんぽを！射精される事しか考えないセックスをおねだりする様子を心行くまでご覧ください！」

サンプルー

はあ……はあ……はあ……はあ……

んはあ……！またおまんこきたあ！

んっんっんあふっあうんっ、あっあはああっぎもちいいよおおおお。

きもちいいっきもちいいっおまんこっあっいの動いてるううっ。

んあっんあっんあっ、あっあっあっあんっあっはんっはんっんっんふっあっ。

こっきざっみにっちんぽじゅぼじゅぼだしいれっきもちいいっ！

あふっふあっあんっあっあんっあんっあっ、んっんっあっあっあっ。

あっはあっはやくなっつてっきあっあっあっあっあっあっあっあっあっ。

はああうっ、こんろはゆっくりいでえふかあいいい。

おまんこのなっかっかきわけっえっえっえっえっえっ。

ちんぽでしきゅーっのっく、のっくっしてっあひっ。

ひゃんい！くりっしびれっんひいっ！

んあっ！あふえっ！ふえあっ！んへっえっ！んひっ！んっあっ！っ！

んえっあっあっくとりすっあっあっあっしびっしびっ！

あああっあっあっあっあっあっあっあっあっあっあっあっあっあっあっあっ。

おちんぽっまこんにゃっおちんぽっ！いつのまにっぶっといちんぽにいつ！？あっ！あっ！

あっ！んっ！っ！

こんにゃっんへっあふあああっ！ふああっ！うあああっ！うわああっ！

うあっ！あ……！あっ！あっ！あっ！あっ！あっ！あっ！あっ！あっ！

んっ！ひっいきすぎっ！いきしゅぎいっ！いぐいぐいぐいっ！っでるう！んあああああ！

んあっ！？はおっ！おっ！おっ！おっ！おっ！おっ！おっ！おっ！

あにゃあっ！にゃっ！ふひゃっ！あいい！あいい！いいくんっ！あっ！っ！？

あひっ！しゃせーきたっきたっ！やたっ！しゃせーつあったかせーしっ！ああああんっ！



あつあつあつあつくるくるくるくるくるくるつ！  
ああああああああ！！はいつつてきにあああ！！  
んあつ！んおつ！んあつ！あつ！おつ！おつ！おつ！おつ！  
あおつ！おつ！おつ！ふあおおつ！おつ！あつ！あつ！あつ！  
おあつ！おんつ！ぐえつ！んつ！んぶあつ！んおつ！ほおおお！  
んごおつ！んごおおつ！ごおつ！おつ！がच्चゆりいっ！くいこんれううつ！  
のうみしよつ！しよつおおおおおおおおおおまこになつたあああ！！  
あきやあ！ぎやあ！ぎつ！があつあつあつあつあああああ！！  
おおつ！おつ！おつ！んおつ！おつ！ほおうつ！あきやつ！んきい！  
んおぐおおおつ！んきひい！おつ！ほおつ！あつ！へえつ！あつ！へえええええええ！！  
うあつ！ひつ！へえつ！もつ！ろつ！ひれつ！おつ！おつ！おつ！  
ひもひいいのらつ！わかんないによおおおおお！  
おおつ！おつ！おつ！おつ！おつ！おつ！おつ！おつ！  
あああああ！あ！イ！ぐう！うう！うう！い！い！つでるうううう！  
あああ！あおつ！おつ！おつ！んおつ！おつ！  
おつ！へえええええ！おつ！へつ！おつ！んへえつ！あつ！びやあああ！  
い！ぐの！どま！ら！ない！い！い！い！い！い！い！  
あつ！へええええええ！あべえええええええええ！あへつ！んへえええええ！  
おつ！おつ！おつ！へえええええええええええええええ！へええええええええええ！  
あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！  
おひつ！るれひやうつもれつ！あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！  
んあつ！あつ！あつ！ほおおおおおおおお……おんつ！  
おひつ！こつ！だひながらつ！つてましゆつ！いってましゆうう！  
まんこつ！まんこおつ！れんうおまんこおつ！おひんつ！いひつ！いひひいん！  
んごつ！うきつ！ぶひいつ！うい！ああああ！  
あたまのつ！んおつおつ！にやかつあつあつあつあつあつあつあつあつ！  
めひやくひやあああつ！もつおつおつおつおつおつ！まんこおおおつ！  
しんに！やうつ！んおおつ！んもつおつ！おつ……おつ！あつおつ！おつ！おつ！おつ！  
しんじ！やうつ！しつ！ああ！あつ！あつ！きもひ！よしゆぎれ！ばがににやつひやうよお  
おうう！  
ぎやひい！い！い！い！い！い！あびい！い！あびい！い！あびゆつ！んにやああああう！  
んあふつ！ふ！ふ！ふ！ふ！ふ！ふ！ああ！あうううううう！うん！うん！うん！うん！うん！  
あひえつ！ひえつ！ひつ！あひつ！ひんつ！ひうつ！あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！  
あああああ！あああああ！あつ！あつ！ひぬつ！あつ！ん！あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！あつ！



おっおっおっおっあっあっあっあっあっあっ！あっあっ！あっあっ！

あぁあん！あんっ！あぁっ！あうっ！あうんっ！んうっ！んっ！あっ！もっ！  
げんかっあっあっあっあひっあひっひっひっあっあっひっ！

んあっんあぁっ！ふぁっ！げんかいつだかやつあっあっあ！あひっ！もっ！んあうう！  
ひやつ！あっあっあっあぁあぁあぁ！あっ！あぁあーっ！あーっ！あぁあーっ！

あはあぁっ！んあっはあ！あふっ！あふっ！あうっ！あっ！あうっ！あんっ！  
あっあっあっあっあっ。あっあっあっあっあっあっあっ。あっおっおっおっ……！

あうんっ！んうっ！んくっ！くひいっ！ひっ！ひぐっ！ひい！んひいっ！  
あおおっ！あっ！おおっ！んおっ！あへっ！はへえっ！はへえっ！

はあぁあぁっ！あぁあぁあぁあぁ！あぁあぁ！あぁあぁあぁ！あはあぁあぁ！んはあぁ！  
おっうっ！おっおっ！んほおっ！おっおっ！おっおっ！おっおっ！

んいいい！んおおおおっ！んおおおおお！んおっ！おっ！  
おっおっおっ！おっ？おっおっおっ！おっおっ！おっおっ！おっおっ！

んへっおっ！んあおっ！はおおおっ！あおっ！おっ！おっ！  
あおっおっおっおっおっあっあっあっあっあっあっあっあぁあぁあぁ！

あひやあぁっ！んひやあ！んひっ！んひいっ！ゆるしれっ！ゆるる！あっ！んあぁ！  
ゆるひっ！あふあぁっ！ごめんによしやつ！もっ！ゆるひっ！んっ！ふぁっ！

あっあっあっあっあっあっあぁあぁあぁ！あぁあーっ！もおおおっ！ゆるひっ！あぁあぁ  
あ！

んふあぁあぁ！うあぁあ！うあ！うはあっ！はああうっ！はあああう！あう！あっ！う  
あっ！

んあう！あっ！おっ！んおっ！はおっ！ひひっひいっひいっ！んひいっ！  
あにやっ！んにっ！んいっ！あえっ！えうっ！あっ！あっ！あっ！

あぁあぁ！あぁ！あぁ！んっ！んあぁん！あふうあぁあう！ひやへえっ！ひやつ！ひや  
へえ！

しれっ！んあっ！しやへえひへっ、へおっ！はやうっ！んあっ！あっあっ！ふぁっ！はやう  
しやへーっ！

んあぁあ！くりゆっ！あっ！きちやつ！はっはあぁあぁあっ！あふぁっ！あぁあぁあ……！  
あっ……！あふっ……！あっ……！んくっ、んう……！はっ、はあ……！んはあ……！ふっ、あ

あん……。はっ、はあ……。はっふうう……。はっちんぼぬいたのに、いきすぎて、まだきもち  
い……。

んあ……。はっつまだまんこのなかつちんぼはいってるみたい……。あふ、すてき……。  
はっはっ、はふ……。どおしよ……。死んじやいそうなくらいちんぼで気持ちよくなったのに。

まだ、たりない……。ねえ、まだしたいよお……。？  
とめないでえ……。もつと私のまんこいじめてえ……。スイッチいれてえ……。何でもいいからち  
んぼくさあい……。

ナレ「デモンストレーションはお楽しみいただけただけでしょうか」

「より商品について知っていただくために、これより皆様には自由にマシンに触れていただきます」

「どうぞ全ての機能をお試しになってください」

「この場で商品のご購入をお決めになった方には、この性奴隷もおつけいたしますわ」

「ほら……皆さんにちゃんと言いなさい？自分がどんな身分になれたか。おまんこがどうなって、どうされたいのか」

サンプル「はい……会場にお集まりの皆様。葉がまんこ奴隷になる姿を見ていただきありがとうございますございましたあ」

「ご覧の通り、葉のまんこはすっかり……あん……皆様のちんぼがほしくて、ひくひくするようになっていきます」

「おしりまんこも柔らかくて、ん、広がるようになりましたあ」

「このうんちするしか使い道がなかったお尻の穴も、マシンのおかげでちんぼ穴として生まれ変わりましたあ」

「ほじくっていただけのを考えただけで、どっちの穴もえっちなお汁がでちゃうちんぼ穴です♪」

「乳首も、皆様に吸っていただきやすいようぶっくり膨らんで。待ち遠しくて、今、何もされていないのに気持ちいいです……」

「まだ口の経験はないので。皆様で葉のお口を調教してほしいです」

「葉のお口を、ちんぼでお口まんこにして、お腹の中を精液で満腹にしてください。ご飯まだなんです」

「それから……できれば、マシンと一緒に葉まんこもお持ち帰りいただき、可愛がってけると嬉しいですよ」

「頭、とか、なでなでしてくれたら、その分、ちんぼにたくさんちゅっちゅしたいです」

「はい……葉は皆様の性処理奴隷です。好きにお使ってください」

「その前に、使っていたるお礼を……跪いて、お一人ずつ靴を舐めて綺麗にさせていただきます」

「その後、マシンに戻りますので心行くまで葉でお遊びください」

「ちゅっ……ちゅっ……」

ナレ「いかがですか？可愛いでしょう。ずっとこの娘をこうしてあげたかったですよ……」

「見てください、この幸せそうな顔。頼まれてもないのに靴に舌を這わせて汚れを舐める」

---

「彼女は姓処理道具として天性の才能を持ったおまんこ奴隷……きっと、あなたも気に入ると思いますわ」

「ええ……もしこの場で購入が決まらなかったら。罰として言い聞かせますので。お持ち帰りください」

「壊すもよし、愛するもよし。お好きになさって……もう我が社には不要の道具ですか」